

令和4年度 事務事業評価

単位：千円

第6次総合振興計画				款	5 農林水産業費	課・係名		
基本目標		農村の環境を生かした村づくり	施策	農業の振興	項	1 農業費	産業課	
					目	3 農業振興費	農林係	
事業通番 151301	事業名	農業担い手育成支援事業		予算額			決算額	
	事業目的	農業従事者の高齢化、農業後継者不足が進行する中で、新たな農地の再生と担い手を確保し、地域農業の振興を図ることを目的とする。		当初予算額	増減額	予算現額		
			事業費	13,329	17,228	30,557	事業費	28,337
		財源内訳	国庫支出金	4,500	0	4,500	国庫支出金	4,500
			県支出金	3,411	5,351	8,762	県支出金	8,746
			地方債	0	2,000	2,000	地方債	2,000
			その他	43	0	43	その他	43
			一般財源	5,375	9,877	15,252	一般財源	13,048
事業の内容及び成果・今後の課題								
■ 事業内容及び成果								
内容	事業費(円)	内容・成果						
農業後継者対策事業	14,426,000	<p>【農業次世代人材投資事業交付金】 経営開始型交付金事業により、営農開始初期の営農リスクに対応するべく1人の新規就農者に交付金を交付した。 5年目1人 1,500,000円(全額国費)</p> <p>【新規就農者育成総合対策・経営開始資金】 経営開始型交付金事業により、営農開始初期の営農リスクに対応するべく2人の新規就農者に交付金を交付した。 1年目2人 3,000,000円(全額国費)</p> <p>【新規就農者育成総合対策・経営発展支援事業】 就農後の経営発展のために機械・施設の導入を支援する。 1人 3,672,000円(アスパラハウス、ラジコン動噴、管理機マルチャー) 1人 2,754,000円(白ネギ育苗ハウス、造成工事)</p> <p>【村単農業後継者等育成事業奨励金】 担い手の確保と地域農業の振興を図るため、新規就農者2人に各100万円の奨励金を交付した。 2人 2,000,000円</p> <p>【新規就農研修者支援事業補助金】 農業の担い手を確保するため、就農希望者に対して研修を実施した。 1人 1,500,000円</p>						
農業機械導入補助金	256,608	<p>【H26・H27攻めの農業実践緊急対策リース事業】 低コスト・高収益な生産体制への転換を加速させるため、機械利用体系への効率化等を図るために導入した機器類のリース料に対して補助を行った。 実施主体：木島平村農業振興公社 用途：そば、大豆生産体制の整備 補助金額：トラクター 256,608円</p>						

振興作物苗代補助事業	42,969	村が指定する振興作物の新植及び作付面積の拡大に係る種子・苗代について補助金を交付した。 冬至かぼちゃ 1人 植付面積5a 4,616円 (1/3補助) 白ネギ 2人 植付面積18a 38,353円 (1/3補助)																																																																																											
ハウス栽培施設設置事業補助金	100,000	野菜栽培用ハウス設置に対し補助金を交付した。 1件 パプリカハウスA=210㎡ 100,000円 (@1,000円/㎡ 限度額100,000円)																																																																																											
農業経営基盤強化資金利子補助事業	19,623	スーパーL資金利子助成事業補助金 19,623円 (うち県補助9,810円)、対象者2人																																																																																											
経営所得安定対策等推進事業	2,311,000	<p>木島平村農業再生協議会へ補助金を交付して事業の推進を図った。 補助金2,311,000円 (通常分991,000円+eMAFFデータ移行分1,320,000円) (全額国費)</p> <p>経営所得安定対策交付金の実績は次のとおり。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>計画書提出者数</th> <th>目標数量</th> <th>生産確定数量</th> <th>配分面積</th> <th>水稲作付面積</th> <th>配分基準単収</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>923人</td> <td>2,108 t</td> <td>2,174 t</td> <td>382.0ha</td> <td>416.1ha</td> <td>569kg/10a</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>909人</td> <td>2,108 t</td> <td>2,446 t</td> <td>401.6ha</td> <td>430.7ha</td> <td>568kg/10a</td> </tr> <tr> <td>R01</td> <td>910人</td> <td>2,167 t</td> <td>2,312 t</td> <td>405.6ha</td> <td>404.1ha</td> <td>570kg/10a</td> </tr> <tr> <td>R02</td> <td>927人</td> <td>2,324 t</td> <td>2,323 t</td> <td>406.9ha</td> <td>406.7ha</td> <td>571kg/10a</td> </tr> <tr> <td>R03</td> <td>937人</td> <td>2,276 t</td> <td>2,244 t</td> <td>399.4ha</td> <td>393.7ha</td> <td>570kg/10a</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>932人</td> <td>2,185 t</td> <td>2,185 t</td> <td>384.8ha</td> <td>384.7ha</td> <td>568kg/10a</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>交付金の名称</th> <th>交付内容</th> <th>件数</th> <th>取組面積</th> <th colspan="2">交付金額 (国から直接生産者へ)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">水田活用直接支払交付金 (戦略作物)</td> <td rowspan="3">水田で麦、大豆等の戦略作物を生産する農業者に対して主食用米並みの所得を確保し得る水準の交付金を交付する。</td> <td>1</td> <td>0.1ha</td> <td>大豆</td> <td>35,000円</td> </tr> <tr> <td>54</td> <td>34.2ha</td> <td>加工用米</td> <td>6,840,000円</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>1.5ha</td> <td>飼料用米</td> <td>120,000円</td> </tr> <tr> <td>水田活用直接支払交付金 (産地交付金)</td> <td>転作して出荷した作物に対して、助成金を交付する。</td> <td>82</td> <td>43.3ha</td> <td>加工用・飼料用米 高収益作物等</td> <td>6,880,978円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">畑作物の直接支払交付金 (ゲタ対策)</td> <td rowspan="2">そば・大豆等の対象作物に対して、標準的な生産費・販売価格の差額分相当を助成金として交付する。</td> <td>1</td> <td>3.7ha</td> <td>大豆</td> <td>867,308円</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>19.7ha</td> <td>そば</td> <td>4,162,196円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>18,905,482円</td> </tr> </tbody> </table>		計画書提出者数	目標数量	生産確定数量	配分面積	水稲作付面積	配分基準単収	H29	923人	2,108 t	2,174 t	382.0ha	416.1ha	569kg/10a	H30	909人	2,108 t	2,446 t	401.6ha	430.7ha	568kg/10a	R01	910人	2,167 t	2,312 t	405.6ha	404.1ha	570kg/10a	R02	927人	2,324 t	2,323 t	406.9ha	406.7ha	571kg/10a	R03	937人	2,276 t	2,244 t	399.4ha	393.7ha	570kg/10a	R04	932人	2,185 t	2,185 t	384.8ha	384.7ha	568kg/10a	交付金の名称	交付内容	件数	取組面積	交付金額 (国から直接生産者へ)		水田活用直接支払交付金 (戦略作物)	水田で麦、大豆等の戦略作物を生産する農業者に対して主食用米並みの所得を確保し得る水準の交付金を交付する。	1	0.1ha	大豆	35,000円	54	34.2ha	加工用米	6,840,000円	1	1.5ha	飼料用米	120,000円	水田活用直接支払交付金 (産地交付金)	転作して出荷した作物に対して、助成金を交付する。	82	43.3ha	加工用・飼料用米 高収益作物等	6,880,978円	畑作物の直接支払交付金 (ゲタ対策)	そば・大豆等の対象作物に対して、標準的な生産費・販売価格の差額分相当を助成金として交付する。	1	3.7ha	大豆	867,308円	1	19.7ha	そば	4,162,196円	合計					18,905,482円
	計画書提出者数	目標数量	生産確定数量	配分面積	水稲作付面積	配分基準単収																																																																																							
H29	923人	2,108 t	2,174 t	382.0ha	416.1ha	569kg/10a																																																																																							
H30	909人	2,108 t	2,446 t	401.6ha	430.7ha	568kg/10a																																																																																							
R01	910人	2,167 t	2,312 t	405.6ha	404.1ha	570kg/10a																																																																																							
R02	927人	2,324 t	2,323 t	406.9ha	406.7ha	571kg/10a																																																																																							
R03	937人	2,276 t	2,244 t	399.4ha	393.7ha	570kg/10a																																																																																							
R04	932人	2,185 t	2,185 t	384.8ha	384.7ha	568kg/10a																																																																																							
交付金の名称	交付内容	件数	取組面積	交付金額 (国から直接生産者へ)																																																																																									
水田活用直接支払交付金 (戦略作物)	水田で麦、大豆等の戦略作物を生産する農業者に対して主食用米並みの所得を確保し得る水準の交付金を交付する。	1	0.1ha	大豆	35,000円																																																																																								
		54	34.2ha	加工用米	6,840,000円																																																																																								
		1	1.5ha	飼料用米	120,000円																																																																																								
水田活用直接支払交付金 (産地交付金)	転作して出荷した作物に対して、助成金を交付する。	82	43.3ha	加工用・飼料用米 高収益作物等	6,880,978円																																																																																								
畑作物の直接支払交付金 (ゲタ対策)	そば・大豆等の対象作物に対して、標準的な生産費・販売価格の差額分相当を助成金として交付する。	1	3.7ha	大豆	867,308円																																																																																								
		1	19.7ha	そば	4,162,196円																																																																																								
合計					18,905,482円																																																																																								

きのこ経営安定対策補助金	10,833,000	新型コロナウイルスや円安の影響により生産資材の高騰を受けたきのこ生産者へきのこ経営経営安定対策補助金を交付し、経営の安定化を図った。 村単独事業 7,785,000円 県補助事業 3,048,000円（きのこ培地資材価格高騰緊急対策事業3,048,000円）
東京農業大学連携事業	80,885	東京農業大学のインターンシップ研修を行った。 【期間】令和4年8月8日～12日（5日間） 学生9人、受入農家7人 ・農村交流館施設使用料、送迎燃料代等 80,885円
その他	266,516	・農地地図情報システム 40,000円 ・カヤの平畑借地料 43,200円 ・農業機械（トラクター21PS）自動車共済分担金 26,030円 ・広報折込料 4,400円 ・農業電子図書館 105,600円 ・消耗品等 47,286円
合計	28,336,601	

■課題及び今後の取組

新規就農者確保のため、県農業農村支援センターや農林高校・県農業大学校など関係機関との連携共有を図るとともに、地域計画の策定及び実行によるほ場の集約化と作業の効率化による規模拡大など担い手農家支援を行う必要がある。また、担い手支援に関する国の補助制度等のサポートを行い、経営安定のための支援を進めていく。

経営所得安定対策では、コメ余りとコロナ禍の影響で米価下落による主食用米の生産目安値が年々減少している。多雪地域としての水田農業の維持継続について検討が必要なことも訴えながら地域に適した農業の推進を図る必要がある。

指標	目的達成に向けた具体的な取り組み					担当評価	評価の根拠・説明・考察	
	単位	目標	実績	達成度				
	新規就農者の確保	人	3	2	67%			
	新規就農者の育成	人	1	1	100%			
主食用米の目安値達成（経営所得安定対策）					ha	384	384	100%

評価委員評価

公共性	B	総合評価 (妥当性)	B
公平性	B		
有効性	B		
効率性	B		

令和4年度 事務事業評価

単位：千円

第6次総合振興計画				款	5 農林水産業費	課・係名					
基本目標		農村の環境を生かした村づくり	施策	農業の振興		項	1 農業費	産業課			
				目	3 農業振興費	農林係					
事業通番	151304	事業名	農地活用推進事業	予算額			決算額				
		事業目的	耕作放棄地の再生（生産基盤の条件整備）と発生防止により、農地の保全と農業振興を図る。併せて、公社及び農業後継者等担い手と連携して必要な取り組みを進める。また、遊休荒廃農地へのそば栽培の普及及び販売振興、放牧跡地の果樹花木植樹を合わせて実施し、耕作放棄地対策を進める。	事業費	30,328	増減額	8	予算現額	30,336	事業費	30,335
				財源内訳				財源内訳			
				国庫支出金			0	国庫支出金			
				県支出金			0	県支出金			
				地方債			0	地方債			
				その他	15,031	▲	10,000	5,031	その他	5,031	
				一般財源	15,297		10,008	25,305	一般財源	25,304	
事業の内容及び成果・今後の課題											
■事業内容及び成果											
内容		事業費(円)	内容・成果								
名水火口そば栽培補助金		157,500	遊休荒廃地の発生防止及びその解消を図るとともに、名水火口そばの栽培を振興する。 農業振興公社そば刈取面積 210a × 750円 対象者7人								
農業振興公社補助金		30,000,000	農業振興公社に補助金を交付し、村内農地の保有合理化と村の農業施策の振興を図る。								
その他		177,449	建物災害共済分担金 12,449円 倉庫借上料 165,000円								
合計		30,334,949									

■課題及び今後の取組

遊休農地の拡大防止と農地保全に努める必要がある。そのため、現在行っているそば栽培に加え、麦など新たな作物栽培の可能性について検討を進める。

そばの付加価値販売のため、品質向上と安定した収穫量の確保対策を進める。

指標	目的達成に向けた具体的な取り組み	単位	目標	実績	達成度	担当評価	評価の根拠・説明・考察
	名水火口そば栽培補助金交付事務	式	1	1	100%	B	そば栽培は耕作放棄地対策として有効な作目である。農地の有効活用と地域景観の改善に寄与している。また、製品としてのそばや加工品など付加価値を付けた販売の安定化を図っている。
	農業振興公社補助金交付事務	式	1	1	100%		
					#DIV/0!		

評価委員評価

公共性	B	総合評価 (妥当性)	B	農業振興公社の業務内容の再確認 行政事業の影響大きく方針等の確認必要
公平性	B			
有効性	B			
効率性	B			

令和4年度 事務事業評価

単位：千円

		第6次総合振興計画			款	5 農林水産業費	課・係名					
基本目標		農村の環境を生かした村づくり	施策	農業の振興	項	1 農業費	産業課					
					目	3 農業振興費	農林係					
事業通番	事業名	有害鳥獣対策事業			予算額			決算額				
151305					当初予算額	増減額	予算現額					
	事業目的	有害鳥獣対策の推進を図り、ツキノワグマやイノシシ、小動物による水稻・トウモロコシ・果樹等の農作物被害の発生を未然に防ぎ、農家の生産性向上と耕作意欲の維持を図る。			事業費	3,823	1,207	5,030	事業費	2,780		
					財源内訳	国庫支出金		0	財源内訳	国庫支出金		
						県支出金	2,140	1,254		3,394	県支出金	1,483
						地方債		0			地方債	
						その他		0			その他	
						一般財源	1,683	▲ 47		1,636	一般財源	1,297
事業の内容及び成果・今後の課題												
■ 事業内容及び成果												
内容		事業費(円)	内容・成果									
有害鳥獣駆除対策協議会補助金		1,743,000	有害鳥獣駆除対策協議会の活動に対して補助を行った。 ・活動費補助金50,000円 ・鳥獣被害防止総合対策（ソフト）420,000円（個体数調整費） ・鳥獣被害防止総合対策（ハード）1,273,000円（電気柵設置 糠千1,450m）									
猟友会活動費補助金		180,000	猟友会の活動に対して補助を行った。									

電気柵購入補助金	296,429	電気柵購入者17件に対して補助を行った。																																																							
狩猟免許取得助成金	94,020	<ul style="list-style-type: none"> <li>・狩猟免許取得 1種1件</li> <li>・狩猟免許更新 3件</li> <li>・狩猟者登録等更新 16件</li> </ul>																																																							
鳥獣被害対策実施隊報酬	120,000	鳥獣被害対策実施隊20人×@500×12か月																																																							
有害鳥獣駆除報奨金	263,000	<table border="1"> <thead> <tr> <th>鳥獣名</th> <th>捕獲頭羽数</th> <th>単価</th> <th>報奨金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ツキノワグマ</td> <td>6頭</td> <td>10,000円</td> <td>60,000円</td> </tr> <tr> <td>イノシシ</td> <td>3頭</td> <td>20,000円</td> <td>60,000円</td> </tr> <tr> <td>ニホンジカ</td> <td>2頭</td> <td>20,000円</td> <td>40,000円</td> </tr> <tr> <td>ハクビシン</td> <td>24頭</td> <td>1,000円</td> <td>24,000円</td> </tr> <tr> <td>タヌキ</td> <td>21頭</td> <td>1,000円</td> <td>21,000円</td> </tr> <tr> <td>キツネ</td> <td>14頭</td> <td>1,000円</td> <td>14,000円</td> </tr> <tr> <td>アナグマ</td> <td>5頭</td> <td>1,000円</td> <td>5,000円</td> </tr> <tr> <td>アオサギ</td> <td>3羽</td> <td>1,000円</td> <td>3,000円</td> </tr> <tr> <td>カワウ</td> <td>1羽</td> <td>1,000円</td> <td>1,000円</td> </tr> <tr> <td>カラス</td> <td>20羽</td> <td>500円</td> <td>10,000円</td> </tr> <tr> <td>ヒヨドリ</td> <td>50羽</td> <td>500円</td> <td>25,000円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>149</td> <td></td> <td>263,000</td> </tr> </tbody> </table>				鳥獣名	捕獲頭羽数	単価	報奨金額	ツキノワグマ	6頭	10,000円	60,000円	イノシシ	3頭	20,000円	60,000円	ニホンジカ	2頭	20,000円	40,000円	ハクビシン	24頭	1,000円	24,000円	タヌキ	21頭	1,000円	21,000円	キツネ	14頭	1,000円	14,000円	アナグマ	5頭	1,000円	5,000円	アオサギ	3羽	1,000円	3,000円	カワウ	1羽	1,000円	1,000円	カラス	20羽	500円	10,000円	ヒヨドリ	50羽	500円	25,000円	計	149		263,000
		鳥獣名	捕獲頭羽数	単価	報奨金額																																																				
		ツキノワグマ	6頭	10,000円	60,000円																																																				
		イノシシ	3頭	20,000円	60,000円																																																				
		ニホンジカ	2頭	20,000円	40,000円																																																				
		ハクビシン	24頭	1,000円	24,000円																																																				
		タヌキ	21頭	1,000円	21,000円																																																				
		キツネ	14頭	1,000円	14,000円																																																				
		アナグマ	5頭	1,000円	5,000円																																																				
		アオサギ	3羽	1,000円	3,000円																																																				
		カワウ	1羽	1,000円	1,000円																																																				
		カラス	20羽	500円	10,000円																																																				
		ヒヨドリ	50羽	500円	25,000円																																																				
計	149		263,000																																																						
その他	83,400	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野鼠一斉駆除資材費購入負担金 24,000円</li> <li>・鳥獣被害対策実施隊活動服作成 59,400円</li> </ul>																																																							
合計	2,779,849																																																								

■課題及び今後の取組

平成20年から11地区で約27kmを整備してきた効果は実証されており、未整備地区からの侵入防止が課題となっている。そのため、未設置エリア地域へ声掛けし、設置に向け理解・協力いただけるよう努めたい。

既設置集落でも資材の老朽化や増加傾向にあるニホンジカ対応の6段柵への更新が必要であり、高齢化により通常管理が困難となっているため、将来的な方策を検討する必要がある。また、猟友会員の高齢化も進んでいるため、会員確保に向けた取り組みも必要とされる。

指標	目的達成に向けた具体的な取り組み	単位	目標	実績	達成度	担当評価	評価の根拠・説明・考察
	猟友会新規会員の確保	人	2	1	50%	B	耕作放棄地や空き家が増え、獣の棲み処が里に近くなり被害が増えている。最近はクマ、イノシシなど大型獣による人身被害も心配されるため、地域全体での被害防止に向けて対策を講じる必要がある。
	個人電気柵購入補助	件	15	17	113%		
	集落電気柵更新による被害防止の強化	件	1	1	100%		

評価委員評価

公共性	B	総合評価 (妥当性)	B	
公平性	B			
有効性	B			
効率性	B			

令和4年度 事務事業評価

単位：千円

		第6次総合振興計画			款	5 農林水産業費	課・係名				
基本目標		計画に記載なし	施策		項	1 農業費	産業課				
					目	6 畜産業費	農林係				
事業通番	事業名	カヤの平牧場管理運営事業			予算額			決算額			
151601					当初予算額	増減額	予算現額				
	事業目的	カヤの平高原での牧場運営を行うことで、畜産農家への支援を行う。			事業費	2,332	50	2,382	事業費	2,296	
			財源内訳	国庫支出金		0		財源内訳	国庫支出金		
				県支出金		0			県支出金		
				地方債		0			地方債		
				その他	348	0	348		その他	469	
				一般財源	1,984	50	2,034		一般財源	1,827	
事業の内容及び成果・今後の課題											
■ 事業内容及び成果											
内容		事業費(円)	内容・成果								
カヤの平牧場管理		2,296,016	・開牧(6月16日) 衛生検査(7月16日、9月14日) 閉牧(10月6日)								
					平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
			開牧期間		113日	122日	113日	113日	113日		
			放牧頭数		16頭	26頭	21頭	18頭	27頭		
			収入	使用料金	272,850	393,270	355,950	327,700	469,810		
			支出	土地借料	235,600	188,500	188,500	188,500	150,800		
				管理報酬(3人)	1,477,508	1,457,276	1,439,699	1,562,731	1,565,527		
				飼料・肥料等	23,450	64,367	42,390	42,073	66,959		
				牧柵等修繕費	28,728	30,468	140,229	82,600	120,340		
				牧草刈り	149,148	149,148	151,910	151,910	166,910		
	その他	28,768	266,613	793,672	248,072	225,480					
計		1,943,202	2,156,372	2,756,400	2,275,886	2,296,016					
			104,397円/頭	67,812円/頭	114,307円/頭	108,233円/頭	67,637円/頭				
合計		2,296,016									

■課題及び今後の取組

燃料や飼料の価格高騰の打撃もあり畜産農家の経営は厳しく放牧頭数は、近年20頭前後で推移し低迷している。農協や畜産農家と情報共有する

指標	目的達成に向けた具体的な取り組み				単位	目標	実績	達成度	担当評価	評価の根拠・説明・考察
	カヤの平牧場	上牧頭数			頭	20	27	135%	B	高原牧場で放牧することで足腰の強い健康牛が育ち、農家経営に寄与できている。また、牛を被写体にするキャンパーやカメラマンも多いことから観光サイドとの連携によるPRなど費用対効果を上げることも必要。
	〃	事業者数			件	3	3	100%		
								#DIV/0!		

評価委員評価

公共性	C	総合評価 (妥当性)	C	放牧は、別の対策は考えられないか
公平性	C			
有効性	C			
効率性	C			

令和4年度 事務事業評価

単位：千円

		第6次総合振興計画			款	5 農林水産業費	課・係名			
基本目標		農村の環境を生かした村づくり	施策	農業の振興	項	1 農業費	産業課			
					目	9 土地改良費	農林係			
事業通番	事業名	村単土地改良事業			予算額			決算額		
151901					当初予算額	増減額	予算現額			
	事業目的	国県等の補助事業に該当しない水路改修等の土地改良事業について、地元が施行する事業について、土地改良事業等補助金交付要綱に基づき補助する。			事業費	1,256	▲ 583	673	事業費	666
					財源内訳			財源内訳		
					国庫支出金		0	国庫支出金		
					県支出金		0	県支出金		
					地方債		0	地方債		
					その他		0	その他		
					一般財源	1,256	▲ 583	673	一般財源	666
事業の内容及び成果・今後の課題										
■ 事業内容及び成果										
	内容	事業費(円)	内容・成果							
	大町地区	171,600	事業費の4割補助 事業主体：大町区 内容：増水期の溢水が懸念される水路に対し、嵩上げ工（L=10.0m）を実施。 事業費：429,000円							
	坂下地区	120,000	事業費の4割補助 事業主体：担い手 内容：湧水除去処理のため、暗きょ排水工（L=50.0m）を実施。 事業費：300,000円							
	下新田揚水 機場負担金	374,000	下新田揚水機場 土地改良施設維持管理適正化事業負担金 下新田地区揚水ポンプの取替工事費に対し、木島平村受益者割合により事業費負担金を支出。 事業費：2,750,000円（地元負担金550,000円 市：1,826,000円・村：374,000円）							
	合計	665,600								
■ 課題及び今後の取組										
従来に在った耕作組合や水利組合等によって、村の土地改良施設は適正に維持管理されていたが、現在はそうした組織も衰退している。 また、少子高齢化や農家戸数の減少により、地区内水路の維持管理は、集落や担い手農家にとって大きな負担となっている。										

指標	目的達成に向けた具体的な取り組み					単位	目標	実績	達成度	担当評価	評価の根拠・説明・考察
	補助金の円滑な事務事業	件	4	2	50%	B	区及び耕作組合等が行う施設改修により、農業用施設の維持に繋がっている。 遊休農地の復旧のため、簡易ほ場整備によるモデルほ場の事業化準備を行った。担い手・新規就農者と連携し、農地の有効活用と畑作農家の経営効率化が求められる。				
	畑地の圃場整備の検討（補助事業の導入・調整）	式	1	1	100%						
					#DIV/0!						

評価委員評価

公共性	B	総合評価 (妥当性)	B	
公平性	B			
有効性	B			
効率性	B			

令和4年度 事務事業評価

単位：千円

		第6次総合振興計画			款	5 農林水産業費	課・係名			
基本目標		農村の環境を生かした村づくり	施策	林業の振興	項	2 林業費	産業課			
					目	2 林業振興費	農林係			
事業通番	事業名	林業振興事業			予算額			決算額		
152201					当初予算額	増減額	予算現額			
事業目的	森林の持つ、水源の涵養、木材をはじめとする林産物の供給など私たちの暮らしを支える働きをはじめ、保健休養の場や多種多様な生き物の生息・生育する場の提供、さらには、地球温暖化の防止等、地球規模での環境を保全する働きなど多様な機能を持続し、森林・林業関係団体とともに林業振興を図る。	事業費	1,946	▲ 161	1,785	事業費	1,737			
		財源内訳	国庫支出金		0		財源内訳	国庫支出金		
			県支出金	705	▲ 38	667		県支出金	675	
			地方債		0			地方債		
			その他	1,000	0	1,000		その他	1,777	
			一般財源	241	▲ 123	118		一般財源	▲ 715	
事業の内容及び成果・今後の課題										
■ 事業内容及び成果										
内容		事業費(円)	内容・成果							
イベントスタッフ謝金	80,000	木育授業大工講師謝金 5,000円×2日×8人=80,000円								
村有林整備作業道開設工事	704,000	R4年度分村有林搬出間伐実施の作業道開設工事 704,000円								
木製ベンチ整備事業	495,000	カヤの平高原総合案内所に木製ベンチの整備 99,000円×5基=495,000								
林道愛護後組合賦課金	108,750	林道千石線愛護組合賦課金 9,650円 林道谷上線愛護組合賦課金 99,100円								
林業協会等会費	114,160	長野県治山林道協会会費 13,600円 千曲川下流流域林業活性化センター会費 50,000円 北信林業振興会会費 50,560円								
みどりの少年団活動補助金	13,750	みどりの少年団活動に対する補助 13,750円								

消耗品費等	220,841	木工体験事業消耗品（木材・塗料・ビス等） 緑化苗木頒布会用消耗品（軍手・レジ袋）	219,121円 1,720円
合計	1,736,501		

■課題及び今後の取組

林業の普及啓発や補助金の活用を図りながら村の林業振興を推進し、山の再生活動を行うことで豊かな森林資源を後世に残すことが必要。  
民有林の林道開設（1985～林構林道）から半世紀がたち、受益者（愛護組合）の高齢化と林業の低迷が続いてきたこともあり、管理体制が

指標	目的達成に向けた具体的な取り組み	単位	目標	実績	達成度	担当評価	評価の根拠・説明・考察
	村有林伐採による持続可能な森林整備	ha	10	10	100%	B	環境問題等で森林資源が着目されている。木育授業で森林資源や木材利用の大切さが伝わり生徒の意識高揚が図られた。村民への更なる啓発とともに一緒に活動することで森林資源の循環による林業振興を進める。
	小中高連携による100年先の森づくり事業の展開	式	1	1	100%		
	苗木の頒布会	回	1	1	100%		

評価委員評価

公共性	B	総合評価 (妥当性)	B	
公平性	B			
有効性	B			
効率性	B			